

はばたき

大分大学教育学部
附属小学校便り
平成28年10月24日

「運動会を終えて」

運動会担当 河野 倫太郎

爽やかな秋空の下、今年度も多くの保護者・地域の方の温かいご声援を受け、子どもたちが活躍する素敵な運動会を開催できたことを嬉しく思います。

「一致団結～全力・協力・輝けキラリ!」というテーマのもと、子どもたちは、一生懸命練習に取り組み、本番では全力を尽くしました。その過程で、たくさんのキラリを見つけることができました。3つ紹介します。

1つ目は、学年を越えて団結する姿です。今年度は、キラキラ掃除をはじめ縦割りのチーム活動を充実させていますが、団ごとでも協力する様子が見え、休み時間には、上学年の学年に競技のコツを手取り足取り教える姿、下学年の憧れを抱きつつ期待に応えようと頑張る姿などが運動場の至る所で見られ、微笑ましい気持ちになりました。これまでのチーム活動で培った力も生かされたのではと考えます。

2つ目は、目標に向かって努力する姿です。いずれの団も、優勝・応援大賞の2冠を目指して練習に臨みました。特に、各団の応援はそれぞれ趣向が凝らされており、見応えのあるものでした。休み時間を返上して、何度も話し合いを重ねながら練習に打ち込む応援団の姿はとて頼もしかったです。全体への呼びかけも本番が近づくにつれ、熱を増していくように感じられました。また、学年の表現も、どのような演技を披露したいのか、その思いを共有しながら技を磨いてきた過程が垣間見れました。その成果は、演技中の引き締まった表情やにこやかな笑顔に表れていたと思います。目標を共有することが活動の原動力となることを改めて感じました。

3つ目は、仲間の頑張りを認めたり、応援したりする姿です。小運動会では、全体的に、自分や同じ団のことばかりに目を向けるあまり、競技中に関係のないお喋りが目立ったり、他の色の頑張りに目を向けなかったりする様子がうかがえました。このことは児童の反省会でも話題に上がり、最後の全校練習の場で児童会長から改善したい点として伝えられました。本番では、その願いを一人ひとりが受け止めたと感じられるほど、競技中に熱心に応援したり、勝敗に関わらず拍手を送ったりする態度が見られ、心地よい雰囲気を味わうことができました。

この他にもたくさんのキラリが見られたことでしょう。念願の2冠を達成して喜びを味わった子どももいました。係で責任をもって活動し自信をつけた子どももいたでしょう。反対に、目標を達成できず、悔し涙を流した子どももいました。練習通り上手くいかず落ち込んだ子どももいたことと思います。しかし、いずれもこれからの成長につながる素敵なキラリだと思います。子どもたちの可能性を大いに感じた運動会でした。子どもたち一人ひとりのキラリに拍手を送ります。

最後に、運動会当日だけでなく練習時より温かい声掛けしてくださったり、運営面での準備やテントの片づけなどを手伝ってくださったりとさまざまな面で協力していただいた保護者・地域の皆様に改めてお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

《11月・12月の主な行事》

- 11月5日(土)・・・オープンスクール(親子ふれあい活動)
- 11月10日(木)・・・四校園避難訓練
- 12月2日(金)・・・歌声発表会
- 12月7日(水)・・・PTA(1・2年)
- 12月8日(木)・・・PTA(3・4年)
- 12月9日(金)・・・PTA(5・6年)